

令和 8 年度

入学者選抜要項

- ◎ この入学者選抜要項は、宮崎公立大学が実施する令和 8 年度入学者選抜に関する概要をまとめたものです。出願する際は、出願する選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。
- ◎ 学生募集要項の公表時期は本書 18 ページ、「VI 学生募集要項の公表」で確認してください。



やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS

学部・学科と入学定員

学部・学科：人文学部・国際文化学科

入学定員：200名

建学の理念・目的

宮崎公立大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展及び文化の向上に貢献することを目的とする。

令和8年度入学者選抜要項 目次

I 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針	
1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	1
2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	1
3 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	2
II 入学者選抜の概要	4
III 一般選抜	6
IV 特別選抜等	
学校推薦型選抜 I	9
学校推薦型選抜 II	10
帰国生選抜	12
社会人選抜	13
私費外国人留学生選抜	14
編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）	15
V 障がい等のある入学志願者の事前相談	18
VI 学生募集要項の公表	18
VII インターネット出願	19
VIII その他	19
IX 問い合わせ・事前相談・学生募集要項請求先	19

I 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

宮崎公立大学は、建学の理念とリベラルアーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士（人文学）の学位を授与します。

「人材育成目標」

国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。

「教育目標」

・創造的な問題解決能力

創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。

・コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることで他者と協力できる能力です。

・異文化理解対応力

異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。

2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「教育内容」

- ・国際文化学科の教育課程は専門課程と教養課程によって構成されています。
- ・専門課程は、言語・文化専攻、メディア・コミュニケーション専攻、国際政治経済専攻の3専攻からなります。また、教養課程はグローバル人材養成プログラムと現代教養科目群からなります。
- ・言語・文化専攻では、哲学、歴史学、文学の研究に加え、英語を中心とした言語研究や文化の多様性とそれらの比較研究によって、グローバル化する人間文化の本質を理解します。
- ・メディア・コミュニケーション専攻では、社会学や情報リテラシーを学びながら、特にメディアとの関係で、人間の社会行動を研究します。メディアを通して、情報や知識が作られ、それらが社会に広がり、社会を変えていく過程についての研究を通して、グローバル化する人間文化を理解します。
- ・国際政治経済専攻では、人間文化に重大な影響を与えるグローバル化について国際政治学や国際経済学の観点から分析し理解するとともに、グローバル化に対する戦略や政策も研究します。さらに世界各地域の政治と経済に関する多様な専門知識も修得します。

- ・演習科目は、1 年次から 4 年次まで一貫して演習が開講され、すべて必修です。演習科目は、1 年次にアカデミックな読み書きのスキルを学ぶ基礎演習、2 年次にグループワークで地域課題に取り組む基幹演習、3 年次から 4 年次にわたる専門演習において専門の知識や方法を学び、学修の集大成としての卒業論文を必修としています。
- ・グローバル人材養成プログラムは、英語教育プログラム、東アジア言語教育プログラム、異文化実習プログラム、情報教育プログラムによって構成されています。
- ・英語教育プログラムでは、高度な四技能（聞く、話す、読む、書く）のコミュニケーション能力を修得します。
- ・東アジア言語教育プログラムでは、コミュニケーション能力、特に中国語または韓国語の「聞く」「話す」能力を修得します。
- ・異文化実習プログラムは、英語圏、中国、韓国での短期の語学学習と文化体験からなり、それによって異文化理解対応力を身に付けます。
- ・情報教育プログラムでは、大学生活において必要不可欠な基本的な情報スキルを習得します。
- ・現代教養科目群では、現代の社会生活をより豊かに過ごすための教養として、人文学、社会科学、自然科学、スポーツ健康、キャリア教育の 5 分野にわたる幅広い教養科目を開講しています。

「教育方法」

- ・英語教育プログラムでは、能力別のクラス編成を行い、英語のコミュニケーション能力の向上をはかります。
- ・専門課程では、幅広い専門知識を身につけるために専攻横断的に各科目を履修します。
- ・専門課程の科目の段階的な学修のために専門基礎、基幹、展開という順に履修するとともに、各科目に番号を付された科目の順に履修します。
- ・1 年次の基礎演習、2 年次の基幹演習、3～4 年次の専門演習という少人数の演習科目を履修します。

「評価」

GPA により厳格な成績評価を行います。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

「求める学生像」

- ・英語のコミュニケーション能力のさらなる向上とともに、異文化に対する理解力や対応力の習得に意欲を持つ人。
- ・地域社会のみならず、広く国際社会の課題の探究と解決に、主体的に取り組む姿勢を持つ人。
- ・幅広い教養を積極的に吸収するとともに、言語・文化、メディア・コミュニケーションや国際政治経済に関する専門分野をきわめたい人。

「入学者選抜について」

人文学部国際文化学科では、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ）、帰国生選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、一般編入学試験、私費外国人留学生編入学試験を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な学生を受け入れることを目指しています。

一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト（３教科・３科目）により基礎学力を評価するとともに、教科・科目に係る個別テスト（英語）で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト（３教科・３科目）により基礎学力を評価するとともに、小論文で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。
学校推薦型選抜Ⅰ	<u>学校推薦型選抜Ⅰは大学入学共通テストを課さない宮崎県内枠の学校推薦型選抜です。</u> 小論文、面接、出願書類（調査書・推薦書・志望理由書・活動報告書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
学校推薦型選抜Ⅱ	<u>学校推薦型選抜Ⅱは大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜です。</u> 大学入学共通テスト（３教科・３科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・志望理由書・活動報告書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
帰国生選抜	小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
社会人選抜	小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
私費外国人留学生選抜	日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
一般編入学試験 （２年次・３年次）	小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって本学の２年次または３年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。
私費外国人留学生 編入学試験 （２年次・３年次）	日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、２年次または３年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

Ⅱ 入学者選抜の概要

1 募集人員

学部・学科		人文学部・国際文化学科	
入学定員		200 名	
募集人員	一般選抜	前期日程	90 名
		後期日程	30 名
	学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ	60 名
		学校推薦型選抜Ⅱ	20 名
	特別選抜	帰国生選抜	若干名
		社会人選抜	若干名
		私費外国人留学生選抜	若干名
	編入学試験 (2 年次・3 年次)		一般選抜前期日程 募集人員の範囲内
		一般編入学	若干名
		私費外国人留学生編入学	若干名

2 入学者選抜実施日程

区 分		募集要項 公表時期	出願期間	選抜期日	合格発表
一般選抜	前期日程	11 月上旬	1 月 26 日(月) ～ 2 月 4 日(水)	2 月 25 日(水)	3 月 5 日(木)
	後期日程			3 月 12 日(木)	3 月 20 日(金)
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ	9 月下旬	11 月 1 日(土) ～ 11 月 7 日(金)	11 月 22 日(土) 11 月 23 日(日)	12 月 10 日(水)
	学校推薦型選抜Ⅱ	10 月下旬	1 月 19 日(月) ～ 1 月 26 日(月)	—	2 月 10 日(火)
特別選抜	帰国生選抜	9 月下旬	11 月 1 日(土) ～ 11 月 7 日(金)	11 月 22 日(土) 11 月 23 日(日)	12 月 10 日(水)
	社会人選抜				
	私費外国人留学生選抜				
編入学試験 (2 年次・3 年次)	一般編入学試験	9 月下旬	11 月 1 日(土) ～ 11 月 7 日(金)	11 月 22 日(土) 11 月 23 日(日)	12 月 10 日(水)
	私費外国人留学生編入学試験				

3	入学者選抜方法等
---	----------

区 分		大学入学共通テスト	教科・科目に係る個別テスト	面接	小論文	書類審査	二段階選抜
一般選抜	前期日程	●	●	—	—	—	—
	後期日程	●	—	—	●	—	—
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ	—	—	●	●	●	—
	学校推薦型選抜Ⅱ	●	—	—	—	●	—
特別選抜	帰国生選抜	—	—	●	●	●	—
	社会人選抜	—	—	●	●	●	—
	私費外国人留学生選抜	—	—	●	●	●	—
編入学試験 (2年次・3年次)	一般編入学試験	—	—	●	●	●	—
	私費外国人留学生編入学試験	—	—	●	●	●	—

Ⅲ 一般選抜

1 出願資格

令和 8 年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和 8 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※(3)に該当する者のうち、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定に基づき、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者は、令和 7 年 7 月 1 日（火）から令和 7 年 8 月 29 日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出する必要があります。ついては、早めに宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。ただし、令和 8 年度大学入学共通テストを受験した者で、受験後に本学の入学資格の認定を受けようとする場合は、令和 8 年 1 月 19 日（月）から令和 8 年 1 月 23 日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出してください。

2 選抜方式

大学入学共通テスト（3 教科・3 科目）により基礎学力を評価するとともに、教科・科目に係る個別テスト等で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

3 試験科目・試験時間

（1）大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目【前期日程・後期日程共通】

教 科	科 目	科目の選択方法
国 語	「国語」	必須
外 国 語	「英語」（リーディング・リスニング）	必須
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」（※ 1）	左の 15 科目中 1 科目を選択
数 学	「数学Ⅰ，数学 A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」	
理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（※ 2） 「物理」「化学」「生物」「地学」	
情 報	「情報Ⅰ」	

※ 1 「地理総合／歴史総合／公共」は 2 科目の受験をもって 1 科目とします。

※ 2 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は 2 科目の受験をもって 1 科目とします。

大学入学共通テストの受験科目については、
大学入試センターによる「出題教科・科目の出題方法等」を必ず確認してください。

(2) 教科・科目に係る個別テスト等

日 程	科目等	試験時間
前期日程	外国語（英語） 〔「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」〕	120 分
後期日程	小論文	80 分

(3) 配点

日程	区 分	国 語	英 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	情 報	小論文	合 計
前期日程	大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	650
	教科・科目に係る個別テスト	—	200	—	—	—	—	—	200
	合 計	200	450	(200)	(200)	(200)	(200)	—	850
後期日程	大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	650
	小論文・面接・実技検査等	—	—	—	—	—	—	100	100
	合 計	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	100	750

※ 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100 点満点)を 150 点満点に換算し、「リスニング」(100 点満点)との合計得点(250 点満点)を利用します。

※ 大学入学共通テストで、地理歴史・公民、数学、理科、情報のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の 1 科目を採用します。

※ 配点に () の付してある教科は選択教科を表します。

4 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日		合 格 発 表
令和 8 年 1 月 26 日(月) ～ 2 月 4 日(水)	前期日程	令和 8 年 2 月 25 日(水)	令和 8 年 3 月 5 日(木)
	後期日程	令和 8 年 3 月 12 日(木)	令和 8 年 3 月 20 日(金)

5	その他
---	-----

- ・ 合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、調査書等を判断材料として活用します。調査書等の内容を評価し、評価の高い者から順番に合格とします。
- ・ 入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。
- ・ 一般選抜（前期日程・後期日程）はインターネット出願のみの取扱いです。詳しくは、「**VII インターネット出願**」（19 ページ）を確認してください。

Ⅳ 特別選抜等

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

1 出願資格

次の(1)から(6)のすべてに該当する者。

- (1) 次の①または②のいずれかに該当する者
 - ① 宮崎県内の高等学校もしくは中等教育学校を令和7年度卒業見込みの者または令和7年度内卒業者
 - ② 宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を令和7年度修了見込みの者または令和7年度内修了者
- (2) 全体の学習成績の状況が4.0以上の者
- (3) 外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者または令和5年4月1日以降に実用英語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の準2級以上を受験し合格した者（出願時に合格証明書の写しを提出できる者）
- (4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- (6) 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）に出願し不合格になった者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）に出願することができます。

大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 推薦者数

1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法

小論文（600字程度）、面接、出願書類（調査書・推薦書・志望理由書・活動報告書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

4 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和7年11月1日(土) ～11月7日(金)	令和7年11月22日(土) 11月23日(日)	令和7年12月10日(水)

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

1 出願資格

令和8年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次の(1)から(6)のいずれにも該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を令和7年度卒業見込みの者または令和7年度内卒業
者、もしくは学校において通常の課程による12年の学校教育を令和7年度修了見込み
の者または令和7年度内修了者
- (2) 全体の学習成績の状況が4.0以上の者
- (3) 外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者または令和5年4月1日以降に実用英
語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の準2級以上を受験し合格し
た者（出願時に合格証明書の写しを提出できる者）
- (4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- (6) 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）に
出願し不合格になった者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校
推薦型選抜）に出願することができます。

2 推薦者数

1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調
査書・推薦書・志望理由書・活動報告書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態
度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

(1) 大学入学共通テスト利用教科・科目

令和8年度大学入学共通テストの次の教科・科目を受験すること。

教科	科目	科目の選択方法
国語	「国語」	必須
外国語	「英語」(リーディング・リスニング)	必須
地理歴史・公民	「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」(※1)	左の15科目中 1科目を選択
数学	「数学Ⅰ, 数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」(※2) 「物理」「化学」「生物」「地学」	
情報	「情報Ⅰ」	

※1 「地理総合/歴史総合/公共」は2科目の受験をもって1科目とします。

※2 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は2科目の受験をもって1科目とします。

大学入学共通テストの受験科目については、
大学入試センターによる「出題教科・科目の出題方法等」を必ず確認してください。

(2) 大学入学共通テストの配点

区分	国語	英語	地理歴史・公民	数学	理科	情報	合計
大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	650

※ 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100点満点)を150点満点に換算し、「リスニング」(100点満点)との合計得点(250点満点)を利用します。

※ 大学入学共通テストで、地理歴史・公民、数学、理科、情報のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

※ 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

(3) 教科・科目に係る個別テスト等

本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)では、教科・科目に係る個別テスト等は実施しません。

4	選抜に係る期日
---	---------

出願期間	合格発表
令和8年1月19日(月)～1月26日(月)	令和8年2月10日(火)

帰国生選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の要件を満たす者。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。ただし、上記に加え、外国において最終学年を含め 2 年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けていることが必要。
- (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて 3 年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が 2 年未満の者
- (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）、バカロレア資格（フランス共和国）、GCE A レベル資格（英国）、国際 A レベル資格（英国）または欧州バカロレア資格を令和 6 年から令和 7 年までに授与された者
- (4) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から 2 年以内に取得したものに限る。

TOEIC L&R※1	英検※2
500 点以上	2 級以上

※1 TOEIC-IP の成績は採用しません。

※2 英検は、従来型英検のほか、「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含みます。

※3 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文（600 字程度）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和 7 年 11 月 1 日(土) ～11 月 7 日(金)	令和 7 年 11 月 22 日(土) 11 月 23 日(日)	令和 7 年 12 月 10 日(水)

社会人選抜

1 出願資格

令和8年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次の(1)から(6)のいずれかに該当し、かつ(7)の要件を満たす者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (7) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC L&R※1	英検※2
450点以上	準2級以上

※1 TOEIC-IPの成績は採用しません。

※2 英検は、従来型英検のほか、「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含みます。

※3 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文（800字程度）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和7年11月1日(土) ～11月7日(金)	令和7年11月22日(土) 11月23日(日)	令和7年12月10日(水)

私費外国人留学生選抜

1 出願資格

外国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2024 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2025 年度第 1 回日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース 1、2 いずれでも可〉、出題言語は日本語とする。）を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および令和 8 年 3 月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）、バカロレア資格（フランス共和国）、GCE A レベル資格（英国）、国際 A レベル資格（英国）または欧州バカロレア資格を取得した者

大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

日本語による小論文（600 字程度）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

※ 2024 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2025 年度第 1 回日本留学試験の成績および 2024 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2025 年度第 1 回日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和 7 年 11 月 1 日(土) ～11 月 7 日(金)	令和 7 年 11 月 22 日(土) 11 月 23 日(日)	令和 7 年 12 月 10 日(水)

編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）

1 出願資格

一般編入学

本学への編入学を希望する者で、次の(1)から(5)のいずれかに該当し、かつ(6)の要件を満たす者

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または令和8年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構で学士の学位を取得している者または令和8年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または令和8年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) **2年次編入学** 大学において1年以上（休学期間を除く）在学し、32単位以上を修得した者または令和8年3月31日までに同要件を満たす者
3年次編入学 大学において2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者または令和8年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または令和8年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

区分	TOEIC L&R※1	英検※2
2年次編入学	500 点以上	2 級以上
3年次編入学	550 点以上	準 1 級以上

※1 TOEIC-IPの成績は採用しません。

※2 英検は、従来型英検のほか、「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含みます。

私費外国人留学生編入学

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、(1)と(2)のいずれにも該当する者。

- (1) **2年次編入学** 外国の大学、外国の短期大学相当の学校教育（14 年以上）を卒業もしくは令和8年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を1年次修了または修了見込みの者
3年次編入学 外国の大学、外国の短期大学相当の学校教育（14 年以上）を卒業もしくは令和8年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を2年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1の認定を得ている者

大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

一般編入学（2年次・3年次）	私費外国人留学生編入学（2年次・3年次）
小論文（800字程度）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。	日本語による小論文（800字程度）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日（一般編入学・私費外国人留学生編入学 共通）

出願期間	選抜期日	合格発表
令和7年11月1日(土) ～11月7日(金)	令和7年11月22日(土) 11月23日(日)	令和7年12月10日(水)

4 編入学後の履修等（一般編入学・私費外国人留学生編入学 共通）

編入学時に認定された単位の状況および編入学後の修学状況によっては、2年次編入の場合は3年間、3年次編入の場合は2年間で卒業できないことがあります。次の留意事項等を必ず確認のうえ、十分理解・納得したうえで出願してください。

卒業要件科目・単位数	61科目・124単位
2年次編入学 留意事項	(1) 2年次編入学者の修業年限は3年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。 (2) 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、次のとおり本学の基準に基づき認定を行います。 包括認定※¹ 32単位 個別認定※² 8単位
3年次編入学 留意事項	(1) 3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。 (2) 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、次のとおり本学の基準に基づき認定を行います。 包括認定※³ 50単位 個別認定※² 10単位 (3) 3年次編入学者の人数によっては、希望するゼミ（専攻）に所属できない可能性があります。
共通留意事項	(1) 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。 (2) 編入学時の単位状況によっては、4年次に多くの科目を履修しなければならないが、1年から本学に在学している4年生と同様の就職活動ができないことがあります。編入学生であることや就職活動等を理由に履修科目等に特別な配慮をすることはありません。

※1 本学における1年次必修科目単位相当（入学時点で自動的に付与されます。）

※2 他大学等で修得した単位のうち、本学で開講されている科目（包括認定対象科目は除く）の単位として読み替えが可能なものについて個別に申請することができます。ただし、審査により認定されない場合もあります。

※3 本学における1・2年次必修科目単位相当（入学時点で自動的に付与されます。）

V 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者は、本学に出願する前に余裕をもって宮崎公立大学学務課まで連絡し、事前に相談してください。

VI 学生募集要項の公表

本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項で必ず確認してください。

1 公表時期（予定）

選 抜 区 分	公表時期
学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	9月下旬
帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学	9月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	10月下旬
一般選抜	11月上旬

2 請求方法

（１）学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜

インターネット出願のみの取扱いであるため、紙媒体（冊子）での配布は行っていません。本学ウェブサイトの「資料請求」ページにて PDF データをご確認ください。

（２）帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学

次の①または②の方法で請求してください。なお、本学ウェブサイトにて PDF データを公表していますが、本学指定の入学検定料振込用紙は含まれていません。出願を希望する場合は、必ず資料請求を行い、学生募集要項を入手してください。

① 大学窓口で直接請求する場合

月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く。）の 8 時 30 分から 17 時 15 分までの間に宮崎公立大学学務課窓口にて直接請求してください。

② 郵送により請求する場合

本学ウェブサイト「資料請求」ページ内の「大学への直接請求(郵送)」をご覧ください。
《資料請求のページ》

<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/entrance/entrance-exam/document/request.html>



VII インターネット出願

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜（前期日程・後期日程）は、インターネット出願のみの取扱いです。紙の願書による出願はできません。

インターネット出願では、願書請求が不要となり、検定料の支払いにコンビニエンスストアやクレジットカードが利用できます。

ただし、志願票や調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますので、出願前に必ず揃えておいてください。（詳しくは「学生募集要項」等で必ず確認してください。）

1 インターネット出願のできる入学者選抜

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜（前期日程・後期日程）に限ります。

※特別選抜、編入学試験は対象外です。

2 出願期間

学校推薦型選抜Ⅰ	令和7年11月1日（土）～11月7日（金）
学校推薦型選抜Ⅱ	令和8年1月19日（月）～1月26日（月）
一般選抜（前期日程・後期日程）	令和8年1月26日（月）～2月4日（水）

3 注意事項

出願をしようとする者は、出願期間前に「学生募集要項」およびインターネット出願に関する情報をよく読んで、入学検定料の入金の方法、郵送すべき書類、郵送用封筒、そのほか出願に際し必要な事項を必ず確認してください。

VIII その他

この冊子の情報は令和7年6月23日時点のものです。文部科学省および公立大学協会からの通知内容によっては、やむを得ず選抜に係る期日等を変更する場合があります。変更がある際は、本学ウェブサイトで公表しますので、定期的に最新の情報を確認するようにしてください。

また、出願にあたっては、各学生募集要項で必ず確認してください。

IX 問い合わせ・事前相談・学生募集要項請求先

宮崎公立大学学務課 入試広報係

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目1番地2

TEL：0985-20-2212（入試広報係直通）／ 0985-20-2000（代表）

宮崎公立大学
受験生サイト



宮崎公立大学
携帯電話サイト
大学情報センター運営サイト



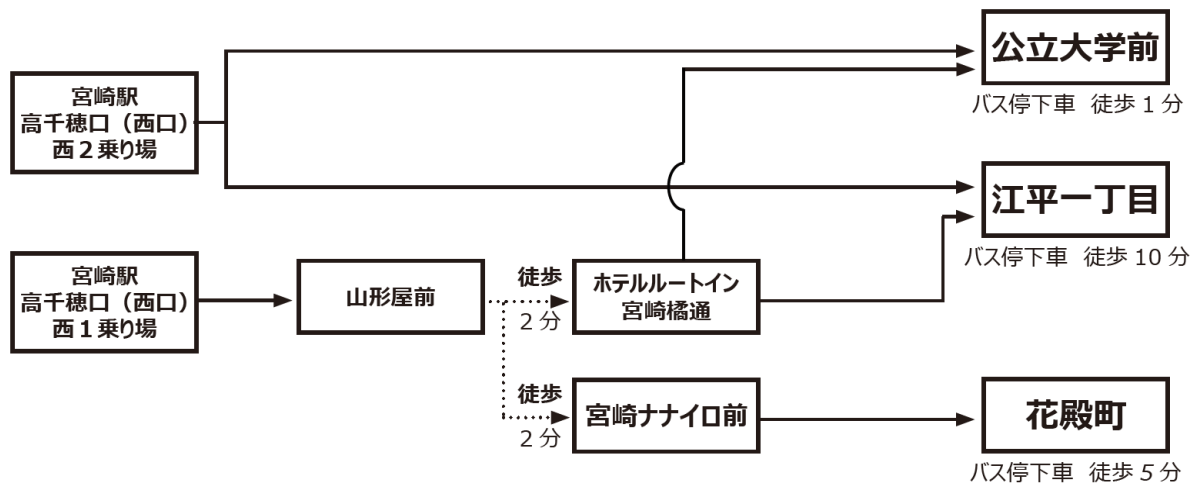
宮崎公立大学周辺図

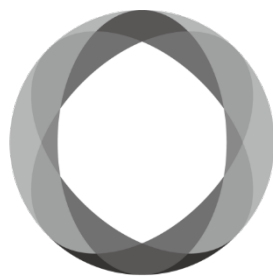


交通案内

- [徒 歩] J R 宮崎駅から約 25 分
- [乗用車] J R 宮崎駅から約 5 分
- [電 車] 宮崎空港→JR 宮崎空港線乗車→JR 宮崎駅下車→下記バス利用
- [バ ス] 下記参照

宮崎交通バス利用例





やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS